戦旗

第一波を再開国会冒頭に！

オ三号
共産主義青年同盟機関紙
一九六〇年一月廿一日発行
東京都文京区元町一の七
世界労働運動研究所内
一部　十円

ただちに批准阻止闘争を

万国の労働者団結せよ！
革命的前衛・共産主義者同盟を
すべての工場に組織せよ！

岸出発後に抗議集会

「羽田」に激励され戦闘的デモ

救援体制確立

相互タクシー労組

羽田闘争で不当逮捕された仲間の救援体制確立のため、M大学のA氏は相互タクシー労組の役員をしているが、闘争中の同労組ではただちに羽田逮捕者救援体制を組織し、羽田闘争に参加した仲間たちの救援活動をはじめたのである。

学連の羽田闘争終了六時間後、四時から「岸撤安保抗議集会」が開かれた。中央集会」が開かれた。

今度の指定は、国会デモ当時から自民党・公安当局の厳重な警戒の中で、労働者・学生の闘争は、羽田闘争の教訓を生かし、羽田闘争の再現を恐れる自民党・公安当局の意図はこれによって弾砕されたものだが、彼らの目論見は完全に失敗した。

「羽田」というキッカケがとび議場がざわめき、「岸帰れ」の声が上がり、「岸帰れ」の声が上がり、「岸帰れ」の声が上がり

「羽田へ」の声

だが労働者はかゆくつけた

同盟の旗の下に

岸政米の朝、全学連の後大は、この点を上に、はね上りたが、人で、地評は体制をくむ一人が、ないまま終った後、全国金属、化学同盟、東貨労、全国総運、国一般、全証労、全印総運、全港湾、全逓、全自運、全国税、全建労、全印刷、